

## ワークショップ①

### エコバッグづくり

連合経済・社会政策局

布製のエコバッグに絵を描いて、アイロンをかければ、オリジナルエコバッグのできあがり。クレヨンやスタンプを使って思い思いに好きな絵を描きました。ユニオニオンを描いてくれた人もいました！



#### 参加者コメント



シャチが好きで、スマホで写真を見ながら描きました。うまく描けたので、これからこのエコバッグを使いたいです。SDGsのことは今までよく知らなかったけど、とても大切なことだとわかりました。



#### パネル展示④

### 日本とフィリピンのパートナーシップで 人が主役のまちづくり

NPOハロハロ

カラフルでかわいい雑貨やアクセサリーが並びました。フィリピンの女性たちが手づくりしたもので、マニラのジュースやお菓子、飼料の袋などの廃材や、セブの自然素材が使われています。女性が働いて収入を得ることで自立につながり、NPOハロハロの活動の中でも特に複数のSDGs達成をめざす分野です。



#### 出展者コメント



ハロハロ (HALOHALO) はフィリピンのデザートの名前で「いろいろ・ごちゃまぜ」という意味があります。NPOハロハロは、フィリピンと日本人の人や文化をごちゃまぜにして、みんなと一緒に豊かなまちづくりをするための活動をしています。



## ワークショップ③

### セブの女性たちとの環境に配慮した 麻を使用したミサンガづくり

NPOハロハロ

自然由来の成分で染めた麻紐を使ってミサンガをつくりました。麻紐は、フィリピン・セブの女性たちがつくったもの。フィリピンと日本の絆を感じられる素敵なミサンガが完成しました。



#### 参加者コメント



ミサンガは意外と簡単にできました。SDGsについては学校でもいろいろ勉強しています。フィリピンでは大変な状況でも頑張っている女性たちがいることを知り、自分が今、普通に暮らしていることの大切さに気づきました。



#### 参加者コメント



両親に誘われて、参加しました。フィリピンのことは、バナナの産地だということくらいしか知らなかったけど、貧困問題についていろいろと話を聞いて勉強になりました。

## ステージの様子

### 笑って学ぶSDGs

お笑い芸人・ガリベンズ矢野さんによる、笑下村塾の出前授業。「3分でわかるSDGs」の説明を受け、「SDGsババ抜き」ゲームで遊びながら楽しく学びました。



ガリベンズ矢野さん

### 親子防災塾

一般社団法人「おいしい防災塾」の西谷真弓さんから、日頃の備えの重要性や、必要な情報を記入しておく「安心えほん」の使い方について説明を受けました。



西谷真弓さん

## パネル展示①

### ゆにふあん

連合運動企画局

ゆにふあんの活動を掲示したり、「れんごう学園」の展示、ユニオニオンとの記念撮影コーナーも行いました。



畠山薫さん



## パネル展示②

### 普段からどう備える? 災害対策コーディネーション

NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)

JVOADもメンバーの「食べる支援プロジェクト」をパネルで紹介し、災害時の食と栄養の問題、SDGsとの関連について解説。日頃の備えに関する展示もありました。なかでも、緊急時のぬぐい活用法をイラストにした「防災てぬぐい」は、「すごく役立ちそう！」との声が多くあがっていました。



#### 出展者コメント



明城 徹也さん

災害が起きると、被災者はいろいろ困りごとに直面します。JVOADはその困りごとと、様々なボランティアや支援団体をつなぐ組織です。地域、分野、セクターを超えた支援者同士の連携促進を目的としています。



片山 銘人さん



## パネル展示③

### 連合エコライフ

連合経済・社会政策局

消費電力節減や環境にやさしい生活について、職場や在宅勤務でできることを紹介し、ピークカットアクションの標語も募集しました。



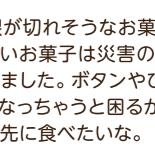
片山銘人さん

## ワークショップ②

### お菓子のポシェットづくり

一般社団法人おいしい防災塾

お菓子の袋をたっぷり詰めて、自分だけのポシェットをつくりました。いざという時は一日分の非常食になり、子どもたちを笑顔にしてくれる「お守り」にもなります。賞味期限が近づいたお菓子の入れ替え作業が、日頃の防災意識の向上にもつながります。



賞味期限が切れそうなお菓子は家で食べて、そうでないお菓子は災害の時までとておこうと思いました。ボタンやひもの部分のお菓子がなくなっちゃうと困るから、ポシェットの中身から先に食べたいな。

